

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 072

事務事業名称	光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	都市整備部			課	市街地開発課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2016(H28)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市計画法、都市再開発法				
関係補助金名称	光善寺駅周辺市街地再開発事業補助金		サンセット	令和5年度	～ 令和7年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	地元権利者で構成する光善寺駅西地区市街地再開発組合			
	サブターゲット	光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業により整備される公共施設や施設建築物の利用者			
	ターゲットが抱える課題	組合が市街地再開発事業を施行するにあたって、技術的・財政的な支援等が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市街地再開発事業の実施により、都市計画道路や駅前交通広場の整備を行い、交通結節点機能が強化される。商業施設棟を中心に都市機能誘導施設の配置や都市住居の整備を行い、交流・定住人口の増加促進となる。				
事業概要	<p>耐火建築物を整備することにより、防災機能の強化を図れる。</p> <p>京阪光善寺駅周辺地区にて、地元組合施行の市街地再開発事業による都市計画道路北中振線及び駅前交通広場と施設建築物の一体的な整備を図るため、本市は事業の実現に向け支援を行う。</p> <p>●光善寺駅周辺では、京阪本線連続立体交差事業の関連事業として都市計画道路北中振線と駅前交通広場の整備が計画されている。</p> <p>●当地区における地元権利者は、商業機能の更新と都市計画施設の整備を一体的に進めるため、準備組合は組合を設立して市街地再開発事業の具体化に取り組んでいる。</p> <p>●本市は、組合の活動に対して、市街地再開発の実現に必要な技術的・財政的支援を行なっていく。</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市街地再開発事業が円滑に実施され、都市計画道路や駅前交通広場の整備を行い交通結節点機能が強化される。				組合の活動に対して、市街地再開発の実現に必要な技術的・財政的支援を行なう。				
指標設定	指標説明	事業進捗率 【算出式:単年度ごとの事業費の累計/総事業費×100】				国・府との協議回数及び国庫補助金等の交付申請回数				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				単位 回				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	4.35	4.43	32	48	6	5	7	6
	達成度	103%				0%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.85
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,140	13,750	14,452		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	19,140	13,750	14,452		
物件費計	292,075	0	2,187,137	2,222,810	98.4%	
歳出計	311,215	13,750	2,201,589			
歳入	国庫支出金	136,933	0	1,146,589	1,172,032	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	125,400	0	893,500	946,500	
	その他	0	0	428,680	428,679	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	262,333	0	2,468,769	2,547,211	
一般財源（物件費に充当されるもの）	29,742	0	0	0		

### 5. 総括的分析

総括的分析	権利変換計画の認可を取得し、既存建築物の解体工事や施設建築物の新築工事に着手したことにより、当初おりの事業進捗を達成したが、一部、社会情勢による工事費高騰などで事業費が上昇したことによる影響から、指標達成率が過大となっている状況となった。今後は、引き続き社会情勢等を注視しながら、国の動向などに合わせた支援等を継続していく。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	社会情勢による資材高騰・労務費の上昇などによる事業費の高騰に対し、国庫補助を活用した財政的支援を拡充するとともに、令和10年度の事業完了に向けて、引き続き施行者である光善寺駅西地区市街地再開発組合に対し、技術的支援を行っていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 384

事務事業名称	まちづくり支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	都市整備部			課	市街地開発課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3	○	R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	1993(H5)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市再開発法、土地区画整理法				
関係補助金名称	枚方市市街地再開発事業補助金 枚方市組合等区画整理事業補助金		サンセット	2021(R3)年度	～ 2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市街地再開発事業、土地区画整理事業を施行しようとする者(施行している者)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	施行者が市街地再開発事業、土地区画整理事業を実施するにあたり技術的、財政的な支援が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市街地再開発事業、土地区画整理事業が円滑に遂行されており、快適で安全なまちが実現できている状態。				
事業概要	<p>建築物及び建築敷地の整備並びに公共施設の整備を行い、都市における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図り、もって公共の福祉の増進に寄与する計画的なまちづくりを誘導及び推進するため、専門的知識を提供し、市街地再開発事業を支援する。</p> <p>公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を行い、健全な市街地の造成を図り、もって公共の福祉の増進に資する計画的なまちづくりを誘導及び推進するため、専門的知識を提供し、土地区画整理事業を支援する。</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		市街地開発事業に関する専門的な知識を得ることができ、事業が促進される。				市街地開発事業について、地元権利者を中心とした組織に対し専門的知識を提供する。							
指標設定	指標説明	市街地開発事業完了する地区数				市街地開発事業を実施又は検討している地区数							
	指標種類			単位	地区			単位	地区				
	指標数値				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)				0	0	0	1	0	7	7	6
		実績				0	0	0		0	7	7	
達成度					0%								

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	5.75
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	18,502	43,051	44,919		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	18,502	43,051	44,919		
	物件費計	37	109	5,211	190	2742.6%
歳出計		18,539	43,160	50,130		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	225	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	225	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		37	0	5,211	190	

## 5. 総括的分析

総括的分析	各地区とも地域主体で取り組むまちづくりであり、まちづくりを進めるうえでの条件等により合意形成や意思決定に時間を要した地区もあるが、まちづくりの検討や事業化に向けた取り組みは各地区とも進められている。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、まちづくりの機運の高まりや事業の進捗に応じ、技術的支援を行っていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 944

事務事業名称	市街地開発課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	都市整備部			課	市街地開発課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市街地開発課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。				
事業概要	課の運営業務				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.40
再任用	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	8,250	8,160		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	8,250	8,160		
	物件費計	—	0	595	1,027	57.9%
歳出計	—	8,250	8,755			
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	—	0	595	1,027		

### 5. 総括的分析

総括的分析	市街地整備室内の横断的な事務を行う必要があったが、室内担当同士で連携し、対応した。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、課運営事務が円滑に進むように取り組む。